

## 【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-4-1
事業名	災害公営住宅整備事業（勝倉アパート）
事業費	総額 345,196 千円 （内訳：測量設計費 28,336 千円，工事費 316,860 千円）
事業期間	平成 24 年度～平成 26 年度
事業目的・事業地区	事業目的 東日本大震災による被災者の居住の安定確保を図るため，災害公営住宅を建設する。 （事業地区：ひたちなか市勝倉地内）
事業結果	災害公営住宅（1 棟 24 戸）を建設し，平成 27 年 1 月から入居を開始した。 【整備概要】 ◇住棟名称：勝倉アパート 5 号棟 構造・規模：鉄筋コンクリート造 4 階建て 24 戸 延べ面積 1,673.48 m <sup>2</sup>
	 
	外観 内観（LDK）
事業の実績に関する評価	① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 整備戸数 24 戸のうち 24 戸すべてに被災者が入居した。そのうち県外からの入居は 6 戸であった。 令和 3 年 4 月時点で 24 戸中 21 戸が入居済である。 入居開始後，全戸が入居している状況であったことから，本事業は被災者の居住の安定に資するものであったと考えられる。  ② コストに関する調査・分析・評価 建設工事中，杭の打設時において地中埋設物及び汚泥等による軟弱地盤が発見されたことにより，埋設物の撤去・処分及び地盤改良等の対応を要したことから，当初の想定よりも工事費が増大した。これらを除けば本事業における災害公営住宅の整備費用は，同規模の一般公営住宅の整備費用の実績と比べても大きな差はなく，補助対象事業費の規模としては妥当であると考えられる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

(想定していた事業期間)

◇調査・設計：平成24年4月～平成25年1月

◇工事：平成25年2月～平成26年3月

(実際に要した事業期間)

◇調査・設計：平成24年4月～平成25年1月

◇工事：平成25年2月～平成26年11月

前述のとおり、地中埋設物及び汚泥等による軟弱地盤への対応によって設計変更及び工期の延長を余儀なくされ、当初の予定よりも工事完了が遅れてしまった。しかしながら、これらの想定外の事態を除けば、調査・設計から工事までの工程に問題はなく、事業手法としては適切であったと考えられる。

事業担当部局

茨城県土木部都市局住宅課

電話番号：029-301-4769